



TTKグループ総力を結集した新たなコア事業へのチャレンジ

株式会社TTK



東北全域での強固な事業基盤と通信工事で培った技術とノウハウを活用し、成長戦略として「光コラボ関連事業」「環境土木工事」「電気工事」の3事業を新たなコア事業とした、事業領域の拡大に向けた取組みおよび、それを支える「人材育成」について紹介いたします。

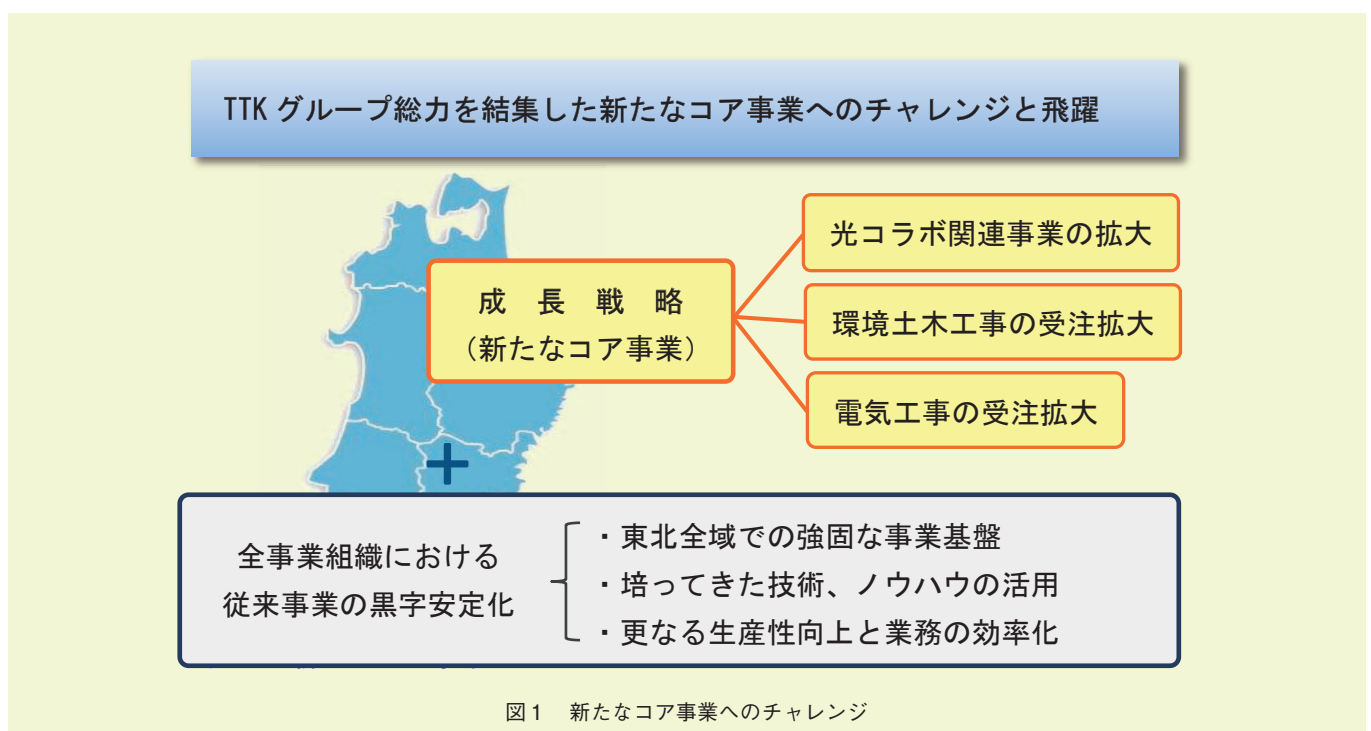
1. はじめに

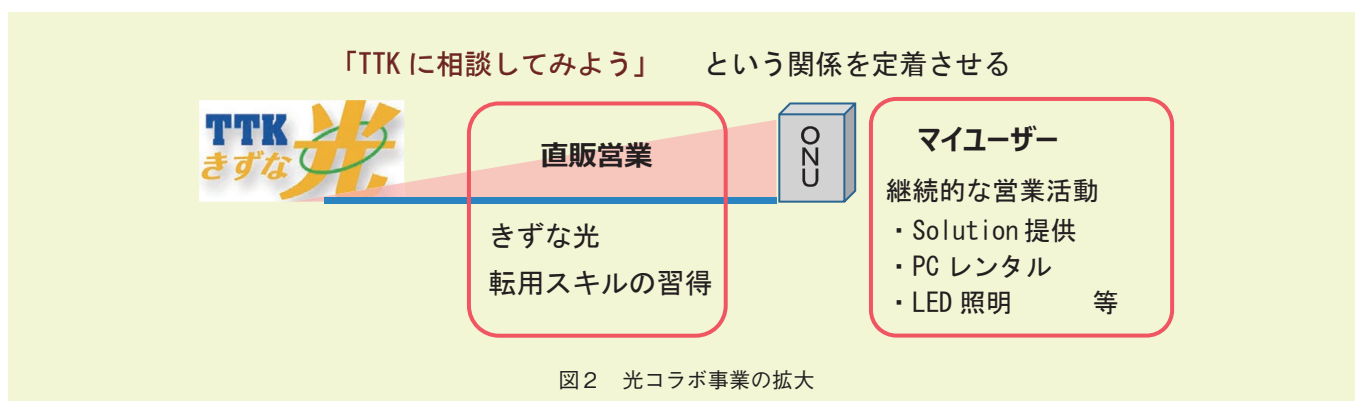
平成29年5月、当社グループは「第5次中期経営計画」（平成29～31年度）を発表しました。第4次中期経営計画（平成26～28年度）では「TTKきずな光」のサービス開始や、ICTソリューション・アライアンス事業の積極展開、県域事業の体制強化を目的とする「パートナー事業推進部」の立上

げ等、震災復興事業への継続的な貢献とあわせて、売上の拡大と利益を創出できる事業フォーメーションを構築してきました。

これらの取組みを足場とする「第5次中期経営計画」では、新たな事業領域の拡大と次期中期以降に向けた堅固な土台作りを目標に、「TTKグループ総力を結集した新たなコア事業へのチャレンジと飛躍」をスローガンと

し、基本戦略として「更なる生産性向上と業務の効率化による従来事業の安定化」とあわせて、「光コラボ関連事業の拡大」、「環境土木工事の受注拡大」、「電気工事の受注拡大」の3つを新たなコア事業として掲げ、成長戦略として取り組んでいます（図1）。また、新たなコア事業と民需系工事をあわせて「非通信キャリア設備工事」と位置付け、成長戦略の事業指標「非通





信キャリア設備工事：3カ年+30億円」と設定しています。

2. 光コラボ事業の拡大

TTKグループの光回線サービスは、当社の子会社である株式会社TTKテクノ（本社：仙台市）が、NTT東日本の「光コラボレーションモデル」を利用したものであり「TTKきずな光」として平成28年3月より事業を開始しました。

TTKグループは、創業以来半世紀にわたり東北地方の情報通信設備構築に携わる一方で、お客様へビジネスフォンやPBXの音声系ソリューション、監視カメラや映像のICTソリューション提供に努めてきました。これに加えて「TTKきずな光」を当社グループの技術力に加えることで低廉で高品質なICT環境をワンストップでお客様に提供できるようになりました。

平成28年、仙台市に光コラボ事業拠点を構え事業を開始し、さらには平成29年に岩手県盛岡市へ事業拠点を張り出し、よりお客様と密着した事業体制を構築し、お客様のパートナーとして光回線の提供に加えさまざまなサービスを提供しています。お客様の通信コストの低減を図るプランニングの提供だけでなく、オフィス内の環境の最適化を図るLED照明等の設置や屋外へ自社ブランドの暴風雪フェンスを設置し、自然環境対策や騒音削減の対策等を1000回線を超えるお客様と

共に考え一緒に発展し続けていきます。また、メーカーや地元の企業とアライアンスした営業体制を構築し、東北の地元企業へ、現在の環境を変更することなくご利用可能な、『TTKきずな光』と『自社サービス』をセットにしたご提案を差し上げ、より便利なサービスの提供に努めています（図2）。

今後も、情報通信技術のプロフェッショナルとして、東北全域における光コラボレーション事業者として地域に根差し安定的に高品質なサービスを提供し続けていきます。

3. 環境土木工事の受注拡大

環境土木事業を取り巻く環境は、地方創生による地域や都市再生に向けた自治体等への投資や、2年後に迫った2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに関連した社会インフラ投資が行われています。平成28年12月には、「無電柱化の推進に関する法律」が施行され、都市景観の向上や大規模地震への対応策として都市の防災機能の強化が行われ、東北地方においても土木施設の耐震化や電線共同溝工事等の発注増が見込まれます。

このような環境の中、我が社はNTT事業本部とコミュニティ事業本部（C事本）に分散していた基盤系の施工リソースを一元化し、平成29年6月に「基盤施工センタ」を立ち上

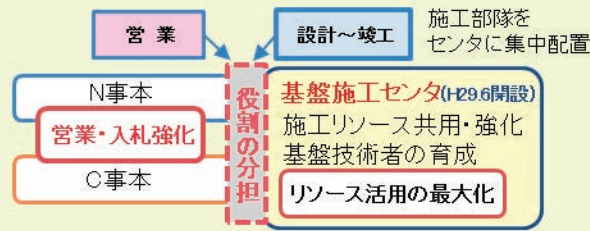
げ、事業本部による「営業」と基盤施工センタによる「設計～施工」の役割分担を明確にしました。

基盤事業の役割として、NTT事業本部でNTT系基盤工事の確実な営業・受注を行うとともに、コミュニティ事業本部では自治体系基盤工事の入札案件へ積極的に参加し受注拡大を図ります。受注した工事は、「基盤施工センタ」が統括管理を行い、東北6県でのNTT系や自治体系基盤工事に対して工事内容に対応できる人員をフレキシブルに配置し、東北地盤のメリットを生かした効率的で地場競争力のある施工体制を構築・推進しています。

受注拡大によるさらなる施工体制の強化を図るには、人材の確保や育成が不可欠であるため、新規・中途採用や社内の有資格者の業務シフトを積極的に行い、工事技術者の確保を進めるとともに、1級土木施工管理技士等の資格取得に取り組んでまいります。また、国土交通省発注の電線共同溝工事の入札要件である実務経験のある基盤技術者の拡大に向け、育成・人事計画に基づいた計画的配置を行って増員を図ります（図3）。

第5次中期経営計画で掲げる「基盤事業の受注拡大」に向けて、グループ総力を結集した各地域の自治体工事フォーメーションの確立に取り組むとともにアライアンス・JV・M&A等の検討を行ってまいります。

基盤リソースの一元化による効率的な施工体制構築



工事技術者確保(新卒・中途採用)
自治体工事の実務経験の種上げ
(育成計画と人事計画)

施工能力の
維持・強化

東北全域を網羅するフォーメーションの構築

環境土木工事の
売上最大化

- ・フレキシブルなリソース配置
- ・効率的で地場競争力のある体制構築

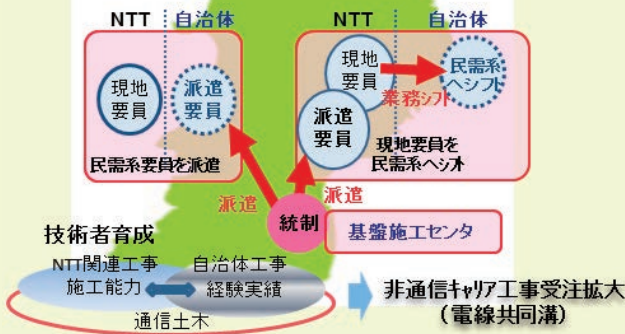


図3 基盤施工体制構築

ケットを年間330億円規模と想定しており、その中でTTKグループが入札参加できる「太陽光」、「LED更改」、「街路灯・防犯灯」といったマーケット分野にターゲットを定め、平成29年度は入札拡大を積極的に進めてきました。また入札市場とあわせ、メガソーラーにかわる新たなターゲット分野として「自家消費型太陽光発電システム」や、省エネ商材を組み合わせた各種提案活動にも積極的に取り組んでおり、さまざまな切り口で電気工事の拡大を目指しています。

②東北全県域における事業フォーメーションの構築

東北全県域で入札拡大を推進するためには、各県域に拠点を置く子会社の「電気工事資格の装備化」が必要であり、目標を定めて計画的に進めています。主管部門であるコミュニティ事業本部を旗艦拠点とし、東北6県の子会社とあわせた「1+6」の各県域2枚看板体制の構築を目指し、またそのフォーメーションを最大限活用した役割分担・相互連携による「戦略的入札拡大」に取り組んでいきます(図4)。

これらの施策に取り組む中、①電気工事資格(技術)者の不足、②各ターゲット分野の工事実績・ノウハウ不足といった課題が浮き彫りになり、中長期での継続的取組みにより解決して行く必要があります。また実務経験の蓄積が必要不可欠であり、人材育成も絡めた仕組み作りが今後の大きなポイントになります。



図4 入札拡大に向けた事業フォーメーション

4. 電気工事の売上拡大

電気工事については従来より取り組んでいましたが、太陽光発電システム関連工事と一部の電気工事のみを対象とし、事業エリアも限定されていました。新たなコア事業としての取組みで

は2つの基本戦略を軸に、電気工事の売上拡大に取り組んでいます。

①ターゲット分野の拡大

電気工事の売上拡大施策として、自治体入札案件への積極的な取組みを目標として掲げています。東北エリアにおける自治体・官公庁の電気工事マー

5. 人材育成の取組み

技術者の確保と人材育成は第5次中期経営計画重点項目の達成に向けて当社グループの重要な経営課題です。当社グループは社内研修施設として、「エキスパートセンタ(仙台市青葉区)」を整備しています(写真1・2)。

従来から社内研修施設は存在しましたが、人材育成のさらなる強化・研修

設備の充実を目的に2年程前に新築・移転しました。従来の新入社員研修や各種競技会等強化訓練に加え、安全教育の徹底や現場代理人等のコア人材育成をはじめとした、当社の事業活動やニーズに即した研修カリキュラムを策定し、現場第一線で活躍できる即戦力人材を育成しています。

各種競技会に向けた強化訓練にも十分なスペースを確保し、日々訓練に集中できる施設環境を整えました。

平成30年度社内研修カリキュラムについては、新技術やレガシー技術な

ど多様化する施工スキルに備えた技術系研修を中心に年間約40コースを計画し、運用スタートしました。現場第一線の技術力向上に直結するよう協力会社作業員の方まで受講対象者を広げて運用するとともに、講師は当社グループ従業員が務め、事業環境にマッチする研修内容に加えて講師を務める社員もスキルアップが図れるような取り組みとしています。

事業活動のニーズに即した研修をタイムリーに実施し、エキスパートセンターの集合研修に限らず、必要あれば東

北の各拠点に出向いた研修も行っています。

また、情報通信エンジニアリング事業に関する研修に限らず、第5次中期経営計画で掲げる3つの新たなコア事業（光コラボ、基盤、電気）の事業拡大に向けた技術者育成に対応できるカリキュラムや、技術面だけでなく、ヒューマンスキルの向上のためのカリキュラムも順次拡大していく方針です。エキスパートセンターのリソースをフル活用して、当社グループの人材育成・技術者確保をさらに強化し、事業発展に挑戦していきます。

6. おわりに

第5次中期経営計画では事業領域の拡大と共に、引継き「安全と品質において業界のトップ企業」をめざし、安全意識の定着化・基本動作の徹底など常にTTKグループ一丸となり取り組んでおります。今後も確かな技術力をもって、真にお客様から信頼されるパートナーとなるよう頑張っております。



写真1 エキスパートセンタ外観



写真2 研修模様